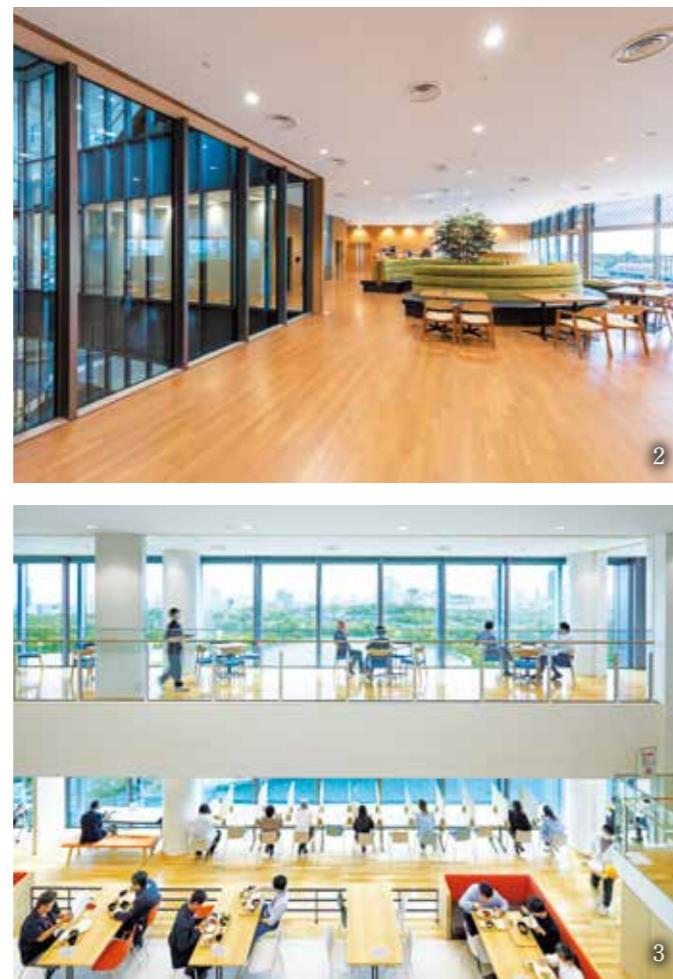




1. 外部吹き抜け
2. カフェ
3. 食堂



3



日建連表彰2024


第65回BCS賞

選定理由

【選考委員】赤司泰義・篠崎淳・北典夫

大阪城公園に面する大阪ビジネスパーク(OBP)地区南街区に新築された読売テレビ三代目の新社屋である。①あらゆる災害に耐え、環境性能に配慮し、可変性の高い社屋、②気持ちよく働くことができ、自然と交流が生まれる番組制作工房、③OBPと大阪城公園を繋ぎ、創造的な人の集まるまちにぎわい空間を具現化した「広場に開かれたテレビ局」である。

まず、まち(OBP)と川(第二寝屋川)の軸からなる平面に低層部を、まちと城(大阪城)の軸上には大阪城に正対するようにOBP街区から四五度振れた高層部を配置し、三つの都市軸がファサードに現れるようなダイナミックな外観をつくりあげている。そして、軸線の切り替え部に設けられた緑化テラス

は大阪城公園を一望する社員・スタッフのリフレッシュの場になつている。また、メガトラス跳ね出し架

構による高層部直下の無柱エンタランスロビーなどを一般公開し、OBP協議会や大阪城パークマネジメント共同事業体と連携しながら多様なイベントを積極的に実施している。

一方、強靭な耐震性能と安定的な機能維持性能を備えた最高水準のBCP対策もなされている。基礎免震化と中間階制振デバイスを配置した免制振ハイブリッド構造を

群からなる施設特有のプランに適応した鉄筋コンクリート造・鉄骨造の混合構造を構築している。各種の浸水対策や火災時対策に加え、停電時対策としてデュアルフューエル仕様を含む複数台の非常用発電機や中圧ガス利用コーディエネレーション

ンシステムなどが備えられている。

また、最大限の環境性能も確保している。高層部は庇付き単層ダブルスキンド日射負荷を低減しつつ眺望を確保し、低層部は水平庇と新たに開発したハニカム構造のアルミニヤスト簾で直達日射を100%カットしている。さらに、気流・温度分布を向上させる気流感変動制御システム、熱負荷特性の違いに対応可能な冷水二温度送水熱源システム、利用形態に合わせたスタジオ可変空調システム、グレアに配慮した高効率グリッド照明など、多くの新しい工夫がなされている。そして、継続的な検証と調整により実績値でCO₂排出量50%削減(旧社屋比)を実現している。

建設に当たっては、

二七〇回近くのワーカー。

読売テレビ新社屋 概要	
・所在地	大阪府大阪市中央区城見1-3-50
・建築主	読賣テレビ放送㈱
・設計者	柳竹中工務店
・施工者	柳竹中工務店
・竣工日	2019年1月31日
・敷地面積	12,496m ²
・建築面積	6,976m ²
・延床面積	51,194m ²
・階数	地上17階、地下1階、塔屋2階
・構造	鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコンフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センターセンター／京都東山計画(山荘 京大和・パークハイアット京都)／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／とろざわさくらタウン／那須塩原市図書館 みるる／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまる」／**読売テレビ新社屋**

読売テレビ新社屋